

学習内容と到達目標

☞ 自分の好きな言葉や物語について説明する。

前半：[1. INTRODUCTION] ～ [6. SPEAKING] (自分の好きな言葉の紹介)

後半：[7. READING] ～ [8. SPEAKING] (物語の紹介)

指導のポイント

1. INTRODUCTION 第15課からはよいよ最後のステップに入るのので、ステップ2だけでなく、できればステップ1での学習内容が定着しているか十分に確認した上で先に進む。①で祖母の思い出について受身や「～くれた」、「～てあげたかった」を使ってうまく話せなかったり、②で質問にすぐに答えられなかった時は、入念な復習が必要。

2. SPEAKING 絵を見ながら、山川さんのお父さんの生い立ちを説明させる課題。イラストによっては何を意味しているかわからないものもあるが、CDを聞く前に学習者に内容を想像させることが目的なので、いろいろな意見が出て構わない(むしろその方がよい)。

3. LISTENING ①では話の内容に注意を向けさせ、自分の想像がどのくらい当たっていたかを確認させる。その後、②でスクリプトをじっくり読ませ、内容をあらためて確認する。この時、父親と母親では使っている表現に違いがあることに気づかせる([4. FOCUS] ④で質問予定)。

4. FOCUS ①～⑥で命令形の作り方について学習した後、⑦で「～からといって、必ずしも～とは限らない」を学習するが、これは普通中級で学習する表現であり、この課の話題について話す時、必ず必要というわけではないので、知識として知っていれば十分。

5. VOCABULARY 学習者は日本のことわざを知らないのので、選択肢にある8つのことわざを先に辞書で調べさせ、意味を知ってから、1～6の文を読んで答えさせる。eの「七転び八起き」とhの「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」の説明文はないので、学習者に意味を説明させる。

6. SPEAKING 1と2は山川さんのお父さんの話(=2.SPAEKING)をモデルに話させ、3は直前の[5. VOCABULARY]を参考に意味の説明を考えさせる。

7. READING READINGとなっているが、まずは一度CDを聞かせ、聞き取りの練習として使ってみる。その際、最初は155ページの絵を見せずに聞かせ、解答してから、再度絵をみながら聞かせるようにする。

8. SPEAKING 物語の説明はなかなか難しいので、ストーリーが伝わればOK。

授業で使えるリソース

- ☞ 「デジタル絵本サイト」というウェブサイトに『鶴の恩返し』や 17 課で学習する『竹取物語』などの昔話が翻訳付きで紹介されている。